

培良タイムス

ホームページアドレス <http://www.kyotanabe.ed.jp/nc21/bairyō-jh/>

令和3年3月11日(木)

第12号 最終号

京田辺市立培良中学校

TEL 62-9363

令和2年度 学校評価等

校長 山下博史

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度は6月からの始まりとなりました。昨年3月からの臨時休校における授業時間数確保の命題も、厳しい状況ながらも本校は教員・生徒とそして保護者の皆様の協力のもと見事に乗り切ることができました。さて、1年間の様々な取組を総括して、来年度の教育活動に反映していく時期がやってきました。

この1年、保護者や地域の方々のご理解やご支援も賜りましたが、計画していた行事や取組が一部実施できませんでした。

また、例年2年生で実施しているスキー修学旅行は3年生の5月に場所を変えた上で延期することになりました。やはり一抹の寂しさを覚える1年間だったと感じます。しかしながら実施した行事は、すべて成功裏に終わっています。

やはり3年生の頑張りが伝統として息づき、その姿をお手本に、1・2年生がしっかりとついていった結果だったと感じます。

生徒指導状況も昨年同様、全体として落ち着いて推移し、問題行動の件数も、毎年右肩下がりで減少しています。いじめの件数についても同様です。いじめに関しては、今年度は年間2回の調査で、「からかう・軽くぶつかる」等の、第1段階と呼ばれる事象は数件ありましたが、すべて、指導し解決しています。生徒会が作った『いじめ追放宣言』・『スマホ・ネット宣言』は、その精神が風化しないように、今後も生かしていきたいと思えます。

卒業おめでとう



生徒アンケートから



生徒に45項目の質問をして、その結果をまとめました。(質問項目と生徒の回答の合計数はホームページに掲載しています。ご参照ください。)生徒は、多くの項目で、高い評価をしています。経年比較をどうとるかを少し考えなければなりません。質問項目によっては、評価が低いものもあります。ただ、この数年、年々評価が伸びてきていたので、やや頭打ちになった感があります。いくつか傾向ごとにピックアップして説明したいと思います。



☆学校が楽しい☆



「学校が楽しい」という項目の評価が、年々、少しずつ上がってきていましたが、残念ながら今年度は、全校合計(そう思う・ほぼそう思うの合計%、以下同様)では82%で、昨年度より4%下がりました。これはコロナ禍における様々な制約、特に学校行事(体育大会・文化発表会や部活動等)の縮小削減があったためと思われまます。

学校が楽しいという項目は、生徒が学校に通ってくる1番基本的なことです。学校の魅力を総合的に表している項目です。

楽しいという言葉には、勉強、部活、人間関係など様々な要素があり、難しい面もありますが、教職員で、さらに魅力的な学校づくりの論議を進めていきたいと思っています。また、「そう思わない」と思っている生徒が昨年度の1.25倍の5%(13名)いることを忘れてはならないと考えています。



☆授業・学習指導について☆



授業に関しては、引き続き評価は高く、また、昨年度と比べ上昇しています。
「授業はわかりやすい」は90%でした。

「学校は一人一人にわかるような手立てをしている」は86%で、昨年度は78%でした。
12月から導入されたタブレット学習が一定の評価を受けていると感じています。
各教科について「授業が楽しい」と答えている生徒は、学年・教科によって違いがありますので一概には言えませんが、概ね満足度は高く、今後とも、生徒の学力向上のために『主体的・対話的で深い学びのある授業』を目指し、さらにユニバーサルデザインの研修等を深め、実践していきたいと考えています。

「コンピュータやテレビを使った授業」は99%で、昨年度より5%上昇しました。
一人1台配付されたタブレットの授業活用はもとより、電子黒板を使って、英語の発音を真似たり、グーグルアースで世界の隅々を俯瞰したり、各教科担当が独自に作成した資料を表示したりすることが、授業の当たり前の風景になりつつあります。

また、家庭学習ノート(自主学习ノート)を利用した、家庭学習の習慣づくりも、学力向上に寄与しています。

「平日に家庭で学習を全くしないか、しても30分未満」の生徒は6%で、京都府の平均を大きく下回っています。昨年度は8%だったので、今年度は少し頑張った結果となっています。朝学活時にタブレットで家庭学習ノートを写真に撮り、担任にデータで送ることが当たり前の風景になっています。クラス全員が行っていることが、学級の雰囲気や学習へと結びつけていると思われまます。

また「学習塾に通っていない」と答えた生徒が47%いることを考えると、授業がいかにか大切であるかが浮き彫りになっています。もちろん授業だけでは力はつきませんので、家庭で学習することが大切になります。毎日の積み重ねができる培良中学生を育てなければなりません。



☆道徳・読書の充実☆



この2つは、本校が、数年前から重点的に努力してきた項目です。
2つとも高い評価となっています。「読書に親しめる機会がある」の項目は、全校で90%でした。昨年度より5%の上昇です。これは朝読書等で静かな雰囲気の中で本を読む習慣作りができてきているからだと思っています。この中学生の時期に人生の土台を築ける読書に親しんでください。

「道徳の時間はいろいろ考えられる」は92%と、昨年度より2%アップしました。道徳の時間の充実に加え、各種通信で、生徒の意見や考えを、家庭にしっかりと返していることも、高い評価につながっていると思います。道徳が教科化され評価も年度末通知表には書き込まれるようになって2年目になります。今まで培ってきた培良の道徳教育を基本に、さらに、活発な意見交流ができるような道徳の授業を実践していきます。



☆気になる質問項目☆



「学校は困っていることに対処してくれる」は85%で、昨年度より1%上がりましたが、15%の子どもたちが「そう思っていない」ことは引き続き来年度への課題です。



「学校は自分が努力したことを認めてくれる」は89%で、昨年度より5%上がりました。更に上昇させるために、これまで以上に生徒理解や教育相談を進めていく必要があると考えています。

また、「生徒会の『スマホ・ネット宣言』を実践している」は76%で、昨年比16%上昇しています。が、全校生徒の4分の1の人が実践していないことは、取組に少し改善の余地がありそうです。

それに比べ「いじめ追放宣言を実践している」は91%です。「いじめ」は自分事としてとらえられている人が多いことが分かります。また、生活アンケート等で、夜更かし、ネット・ゲームに費やす時間が長いなどの実態も明らかになっています。ネットとの付き合い方や就寝時間等、家庭でもご指導願います。



良い意味で、特に気になることとして、「ボランティア活動に参加できる機会がある」は87%で、一昨年度の39.5%から倍増、昨年度の78%から9%増しています。これは2学期に実施したB-Flowerプロジェクトの成果だと考えられます。「ボランティアには参加したいけれどその機会がない」と思っている生徒が多かったということでしょう。

本校生徒は機会さえあれば、「ボランティア活動に参加したい」と考えている生徒が多いと感じます。来年度さらに発展させ、ボランティア活動の機会を周知していければと考えています。本校の教育目標「自己を磨き、人を大切に、社会貢献できる生徒」を実現していきたいと考えます。



保護者アンケートから



全体的には高い評価（達成されている・ほぼ達成されている・の合計%、以下同様）をいただいています。昨年度に比べて、下がった項目がいくつかあります。来年度は一つでも評価が上がるように努力していきます。

学校と家庭の連携に関わる項目では、「学校は教育の目標や方針をわかりやすく伝えている」は74%で、昨年と変化なしでした。



「家庭への連絡や意思疎通が図られている」は2%減の80%。

「保護者の参観の機会が適切に設けられている」は11%減の80%です。今年度は保護者参観を1度しか実施できず残念でしたが、来年度は参観の機会を増やせる状況になることを祈るばかりです。



保護者アンケートで一番低い数字は「学校のホームページをよく見ている」の45%です。しかしながら昨年度から15%以上の増加で、コロナ禍の状況を学校HPで発信していることを多くの方に認知していただいている数字と考えられます。

今後とも学校HPで多くの事柄を発信してまいりますので、どうぞご覧ください。また、今回の学校評価アンケートの結果も、学年別に載せていますのでご確認ください。



また、「学校は服装・挨拶等、社会のルールを適切に指導している」という項目が2%増の85%となっていました。思春期の生徒を指導するうえで、大変重要な項目です。生徒指導上の課題をしっかりと把握して、今後もしっかりとした社会人に育てたいと決意を新たにしています。



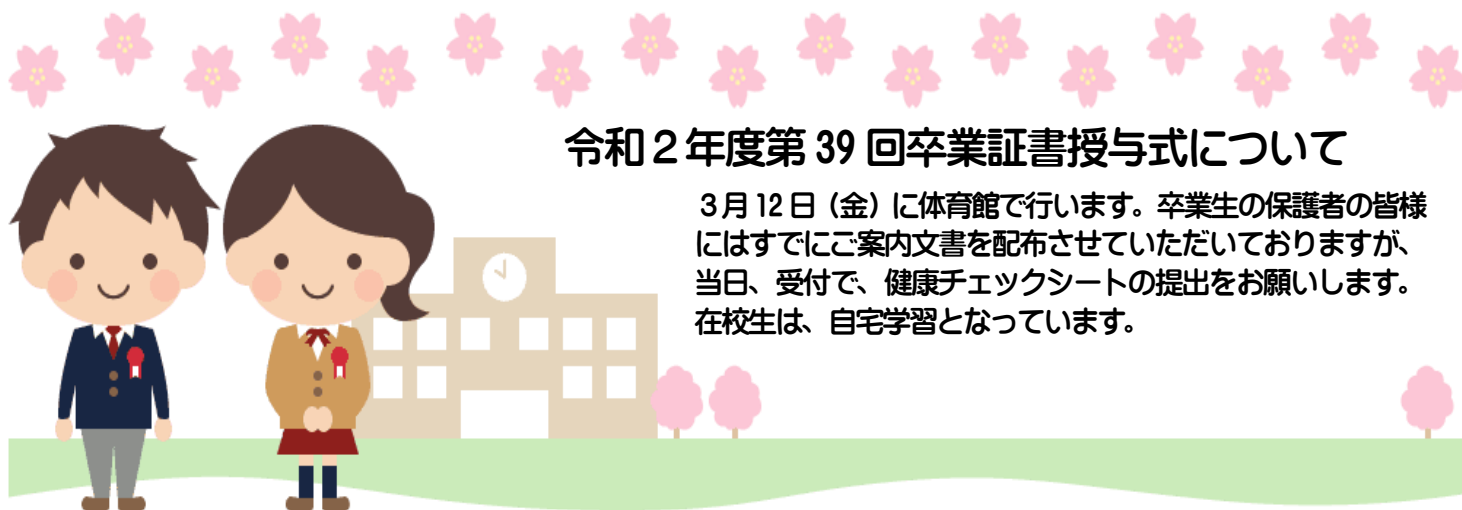
少し気になる項目として、「家庭と連携して家庭学習に取り組めるよう工夫している」は昨年度より4%上がって、69%。

「子どもが家で学習する時間が増えている」は8%下がって51%です。どちらも他の項目と比べると達成率は低く、また子供たちとの意識の乖離が少しあることが見受けられます。

教職員は、学校での活動だけでなく、地道な家庭訪問、家庭連絡を積み重ねて参りました。今後もさらにご家庭との連絡を密にして、信頼される学校づくりに努めていきます。

また、評価が低い項目については、もう一度学校全体で、取組等を検討していきます。

今年度も、保護者の皆様には、本校の教育に多大なご理解、ご支援を賜りました。厚くお礼申し上げますとともに、来年度も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。



令和2年度第39回卒業証書授与式について

3月12日(金)に体育館で行います。卒業生の保護者の皆様にはすでにご案内文書を配布させていただいておりますが、当日、受付で、健康チェックシートの提出をお願いします。在校生は、自宅学習となっています。

4月主な行事予定

- 4月1日(木) 離任式
- 7日(水) 始業式
- 8日(木) 第40回入学式
- 9日(金) 個人写真
- 12日(月) 1年B-S キャンプ
- 13日(火) 1年B-S キャンプ
- 17日(土) 綴喜春季大会
- 18日(日) 綴喜春季大会
- 22日(木) 1・2年生家庭訪問(～28日)
- 28日(水) 新体カテスト

※変更がある場合がありますので、4月発行の培良タイムスでご確認ください。



～卒業生の保護者のみなさんへ～

「リサイクル」について

体操服や制服が必要なくなった場合、リサイクルにご協力ください。

(ジャージ・シャツ・短パン・ポロシャツ)

「子ども安全連絡網」について

・連絡先グループの学年繰上げ作業は、市情報教育推進室で一括して行われますので、各個人で作業をしないようにお願いします。

・令和2年度卒業生のカードは回収しますので、各家庭で廃棄してください。

(下級生の登録がない場合は、4月より利用停止)

(-かいキオ)